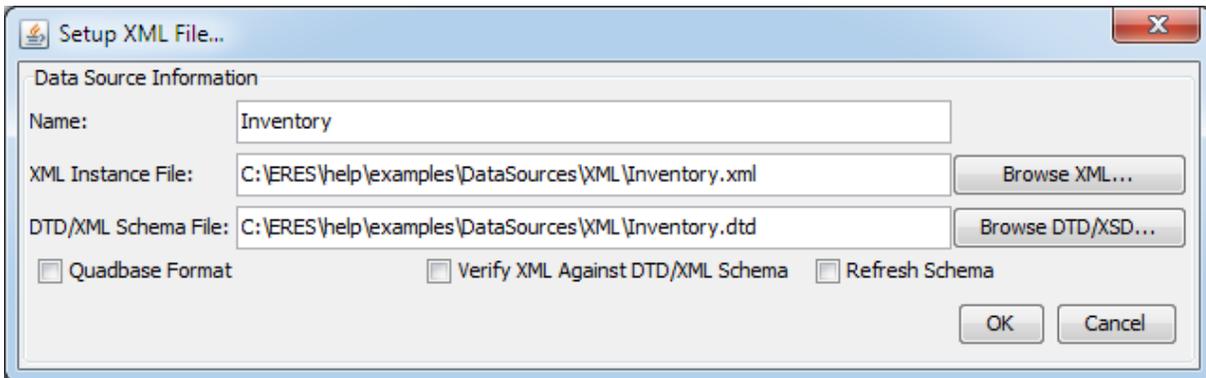


実習 12: XML データソースのセットアップ

ステップ 1: XML と DTD ファイルの指定

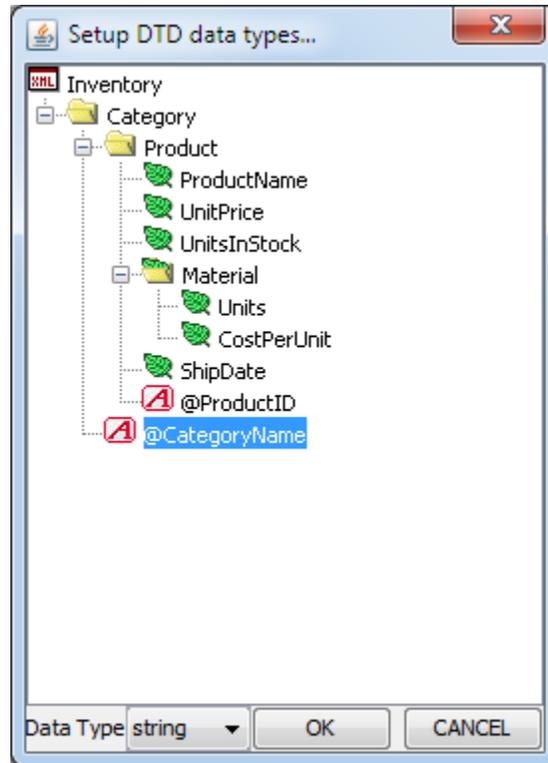
- 1.) データソースマネージャーで「XMLFiles」ノードを選択し、「ADD」をクリックします。XML ファイルと DTD ファイルを指定するダイアログが表示されます。ソース名を「Inventory」と入力します。XML ファイルとして <ERESInstallDir>/help/examples/DataSources/XML ディレクトリを参照し、「Inventory.xml」を選択します。DTD ファイルとして同様のディレクトリを参照し、「Inventory.dtd」を選択します。



ステップ 2: フィールドデータタイプの指定

- 1.) 「OK」をクリックした後の次の画面では DTD 内の要素のデータ型を指定します。各リーフノードに対してデータ型を指定する必要があります。DTD 内の各フィールドに下記の型を指定してください。

```
ProductName - string
UnitPrice - double
UnitsInStock - int
Material - string
Units - int
CostPerUnit - double
Units - int
CostPerUnit - double
ShipDate - date
    Select YY-MM-DD as the date format
ProductID - int
CategoryName - string
```



- 2.) 「OK」をクリックしXML データソースを追加します。XML ソースを含む新しいノードがデータソースマネージャーに追加されます。